

令和6年度 北海道小樽高等支援学校公開研究協議会兼冬季研修会開催要項

二次案内

1 目 的

- (1) 第6次研究として3年間取り組んできた研究の成果を校内外に発表する。
- (2) 参加者から広く意見や助言を受ける機会とし、研究の結論や見解を深化させ、3年間の研究の成果とする。
- (3) 今後の課題を明確化し、次年度の研究の方向性に寄与する。
- (4) 教職員の専門性向上及び校内研究や生徒指導、生活指導の充実のために、専門家による現状と課題などを学び、本研修の成果を今後に生かす。

2 主催

北海道小樽高等支援学校

3 期 日

令和6年12月23日(月)

4 日 程

8:45	9:00	9:15	9:30	11:00	12:00	13:00	16:30	16:35
受付	開会式	本校の研究について	研究協議会	冬季研修会	昼食	冬季研修会	閉会式	
			【公開授業に関する協議】 家庭総合科1年(国語科) 授業者: 佐伯 章 教諭 助言者: 田野 大介 氏	研修会 ① これからの生徒指導の あり方(仮)		研修会 ② 生徒指導の具体例(仮) (ワークショップ)		

5 会 場

北海道小樽高等支援学校 体育館

047-0261 小樽市銭函1丁目1-10

TEL 0134-61-3400

FAX 0134-61-3430

6 協議会(公開授業)

これまで本校では、「時代と社会に敏感に対応できる力を高める実践研究」として3か年計画で研究に取り組んできました。この成果を踏まえた授業の公開を企画しています。授業は、オンデマンド配信いたします。事前に御視聴いただき、授業内容について参加者の皆様と協議できる授業公開を企画します。

授 業 家庭総合科1年(国語科)

授業者 教諭 佐 伯 章

助言者 北海道教育庁 ICT 教育推進課
主任指導主事 田 野 大 介 氏

7 講 演(冬季研修会)

「モグラ叩きのな指導」から「予防的・開発的な生徒指導」への転換を目指し、具体的で実践的な研修会を企画しています。ピアサポート、ポジティブ行動支援、社会性と情動の学習、協同学習など、包括的な生徒指導の視点から、生徒や先生が学校に行きたくするような内容を含む講演とワークショップを企画しています。

演題 「だれもが行きたくなる学校づくり 一明日から使える生徒指導のコツー 」

講師 神戸親和大学 教育学部教育学科
教授 金 山 健 一 氏

8 対 象

本校教職員、他校教職員、地域の方々

9 参加申込み

右のQRコードより、12月13日（金）までに申込みください。



10 参加費

無 料